

平成25年度 福島県優良建設工事表彰

部門	工事写真	事業名・地区名／工事場所／工事概要／会社名
水路部門		<p>地域用水環境整備事業 渋川堀(しぶかわぼり)地区 二本松市渋川 地内 用水路工 L=230.5m 有限会社 丸中建設 代表取締役 遊佐 栄二</p> <p>本工事は、生活用水と親水機能を兼ね備えた農業用水路の改修工事である。 住宅地と市道に挟まれて用地的制約を受けているほか、既設水路沿いにNTTケーブルや宅内引き込み水道管が横断的に混在する中で、施工に際して本水路天端部と隣接する市道、宅地(宅盤)との摺り付けや近接する地域住民の生活状況に合わせ、朝出勤後に施工開始して夕方帰宅前までに仮復旧を完了させるなど、極力生活に支障を来さぬよう配慮されていた点は高く評価できる。また、二次製品水路(表面洗い出し加工)の施工時の破損を防ぐため、独自に加工した木片を使ったバリを掛けるなど品質確保に対して工夫が見られ、出来型・出来映え共に極めて優秀であった。</p>
農道部門		<p>基幹農道整備事業 田母神2期(たもがみにき)地区 郡山市田村町田母神 地内外 舗装工 L=1,140m、幅員 W=5.0(7.0)m 株式会社 石覚組 代表取締役 石井 敏也</p> <p>本工事は、中山間地域における農道の舗装工事である。 資材、機械の搬入路が小野町側の当該農道に限定され、2工区とも始点側からの片押し施工となる等制限が多い中、周辺地山からの浸透水対策や農繁期を避けての施工に努め、計画どおりに舗装を終えた点は高く評価できる。アスファルト敷設温度について、運搬距離、季節、作業性を考慮し、プラントと協議して目標温度を設定し、延べ123台全てが目標をクリアしていた。また、社内規格値を規格値の70%以内に設定しながら、急勾配箇所においても社内規格値内に納めたほか、急勾配かつS字区間の片勾配摺り付けにおいては中間点を設けて調整するなどの工夫をした。道路法線の通りも良く、出来型・出来映え共に極めて優秀である。</p>
農山村施設部門		<p>広域営農団地農道整備事業 いわき地区 いわき市四倉町玉山字炭釜 地内 法面保護工 A=3,808㎡ 株式会社 山一緑化土木 代表取締役 四ツ倉 隆裕</p> <p>本工事は、主に簡易法砕工や植生基材吹付工による、法面保護工事である。 工事施工に際して、舗装工事との兼ね合いがあったこと、作業員の確保や資材の入手がほとんど出来なかった時期があったこと、地区内で崩落があり、緊急性が高く、その部分の対策が変更追加されたことなど、厳しい現場条件のなか、適切な工程管理により遅延なく完了させたことは高く評価できる。施工においても、法面排水の流末処理に工夫が見られたほか、親綱の擦れ防止などの安全対策にも努めている。また、簡易法砕工のモルタルにクラック防止剤や凍結防止剤を用い、出来ばえは、極めて優秀である。さらに、周辺地域のゴミ拾いなどに積極的に参加するなどの社会貢献についても評価できる。</p>
治山部門		<p>復旧治山事業 下田(しもだ)地区 白河市表郷番沢 地内 山腹工(2箇所) A=1.59ha 矢祭建設 株式会社 代表取締役 藤田 清</p> <p>本工事は、東日本大震災により山腹が崩壊しJRバス専用道路に大量の土砂が流出したことから、山腹工事1.59haを施工したものである。 軟弱地盤で重機等の稼働が制約されたことに加え、施工中に山腹中腹にクラックが発生し法切範囲の拡大や土留工の新設など設計が大きく変更する中で、工期内に工事を完成させたことは評価できる。山腹面の崩落防止、浸食防止を目的に設置された延長約3,600mの丸太筋工の設置にあたり、設置基準高、上下の設置間隔を座標管理するとともに丸太筋工の横丸太を二面落として接地面を水平にすることで施工性を向上させ、出来栄は極めて優秀である。土砂運搬経路がJRバス路線と一部重複するため、道路脇にバス運行時刻表を表示するなど、安全対策についても評価できる。</p>

平成25年度 福島県優良建設工事表彰

部門	工事写真	事業名・地区名／工事場所／工事概要／会社名
林道部門		<p>ふるさと林道緊急整備事業 酒垂宝木(さかだれほうき)線 東白川郡鮫川村大字赤坂西野字酒垂 地内 道路工 L=922.1m、幅員 W=5.5(7.0)m 深谷建設 株式会社 代表取締役 深谷 佳孝</p> <p>本工事は、土留工5基、暗渠工5箇所を伴う、山間部の狭小な地形で行う林道改築工事である。 既設道路は通勤・通学等に利用されており、その安全な一般通行を確保しながらの困難な現場条件の中での施工となり、関係機関との協議に時間を要したこと、台風による降雨での崩落等により復旧工事が増となり、工程の見直し、作業員の確保や資材の調達が困難な中、工程管理を厳密に行い、工期内に完了させたこと、さらに施工面、安全面と共に適切な管理がなされたことは高く評価できると共に、出来映えも優秀である。また、道路清掃、散水、冬期間の除雪、凍結防止剤の配備・散布を行う等、環境対策や社会貢献についても高く評価できる。</p>
特殊構造物部門		<p>農業用河川工作物応急対策事業 五箇堰(ごかぜき)地区 白河市大搦目 地内 取水堰改修 L=40.0m、魚道改修 N=1箇所、護床工 N=1式 株式会社 鈴木建設 代表取締役 鈴木 清次</p> <p>本工事は、一級河川区域内における頭首工(堰体・魚道・護床部)の改修工事である。 工事期間が非洪水期(11月~3月)に限定される中、使用資材の調達や工事進捗管理などが施工計画に基づき適切に行われ、段階確認や社内検査においても適切な時期になされていた点は高く評価できる。魚道の施工にあたっては、植石の大きさや配置間隔、向きや淀みの作り方などについて漁協関係者などの意見を聞き、スロープ面に窪みを設置・荒仕上げなどの流速低減処置を講ずるなど魚類遡上対策に努める提案を行っていた。固定堰のコンクリート表面は、木製型枠で施工されたにも関わらずキレイな曲線が再現されており、出来型・出来映え共に極めて優秀である。</p>
治山(災害復旧工事)部門		<p>災害関連緊急治山事業 東山(ひがしやま)地区 南会津郡只見町大字黒谷字東山 地内 治山ダム工(ソクリト) N=1基(V=923.8m³)、仮設道 L=170.4m 株式会社 渡部工務所 代表取締役 渡部 勝男</p> <p>本工事は、新潟・福島豪雨による荒廃渓流の復旧工事である。 集水面積が140haと広く、溪間内には不安定土砂が相当量堆積しており、谷幅が狭く沢水の仮廻しが困難で降雨による流出の危険性が大きく、さらに、直下流に既設ダムがあるなど現場の広さに制約を受ける状況にあったが、突然の流量増に備え仮設としてコンパネとブルーシートで水路工を設置するなどの工夫をして工期内に完成させた。施工に当たっては、残置式型枠材に角材を使用しターポリン紙の密着性を高めコンクリートの漏れを防止したり、湿潤養生において沢水が冷たすぎるため、タンクを利用し水温を上昇させるなど品質確保に努めた。その結果、堤体・間詰めコンクリートや残置式木製型枠の状況も良く、極めて優秀な出来栄えとなっている。</p>
特殊構造物(災害復旧工事)部門		<p>農業用施設災害復旧事業(23年災) 七ツ池(ななつひけ)地区 郡山市三穂田町七ツ池 地内 堤体工 L=175m、取水工 N=1箇所、波除工 A=1,665m² 三栄建設 株式会社 代表取締役 柳沼 秀徳</p> <p>本工事は、東日本大震災で堤体に大きくクラックが発生した大規模ため池の全面復旧工事である。 施工において、前刃金土等の盛土の締固めが最重要であることから、施工に先立ち最適な締固回数を確認する盛立試験を実施した上で、狭く落差のある現場条件を考慮しブロックに分けて計画的に施工した。さらに、盛土の締固めには含水比が大きく影響することから、盛土材にシートを掛け、含水比が小さいときには散水するなど最適含水比に保ちながら丁寧に転圧し、出来型・品質・出来栄とともに極めて優秀である。また、復旧工事見学会を実施したこと、土取場・土捨場決定までの地元調整へ積極的に参画したこと、土取場・土捨場の整地においても地権者調整を図りながら丁寧に施工したことも高く評価できる。</p>